

No	14	分類	2-(2)-ア	資料名	弟にはく手	学年	6年	領域	道徳	4-(2)
----	----	----	---------	-----	-------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 障害のある友だちを理解し受け入れるとともに、お互いを認め合って生きていこうとする意欲と態度を身につける。

2 趣旨

- 障害のある人と共に生きていくということは、互いに理解し合い、学び合いながら、支え合って生きていこうとすることである。
- 障害のある勇紀と他者とのかかわりを3つの場面で設定している。弟が入学してくることは、姉にとって楽しみである反面、不安もある。しかし、相手の思いを知ったうえで関わることでコミュニケーションがとれることや、一生懸命な勇紀の姿と、勇紀を支え合いながらみんなが学んでいる様子が描かれている。
- 学級に障害のある児童の兄弟姉妹がいる場合は、その願いを十分に知るなど、障害に対する正しい理解を図り、十分な配慮が必要である。

3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 入学式での「まり子」の気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">入学式の日、「まり子」はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弟が入学してくれてうれしい。 ・弟はちゃんと生活できるかな。 ・できるだけみんなと同じようにしてほしい。 ・みんなは、弟やわたしのことをどう思うだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある兄弟姉妹がいる児童やその家族が、いろんな不安や願いをもっていることを十分に考えさせる。
<p>2 たてわり班での勇紀と周りの児童の行動について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">勇紀君が満足げな表情をしたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうじができたから。 ・みんながほめてくれたから。 ・自分のことを分かってくれたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある児童が、周りとは異なる行動をとることもあるが、その子の願いや思いを知ることで理解が深まり、適切な支援ができることに気づかせる。 ・明子さんの言動から、具体的で適切な指示をすることで、障害があっても、一人でもできることも多くあることを認識させる。
<p>3 音楽発表会での会場の人たちや「まり子」の気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者席での反応の変容を知る。 <p style="text-align: center;">演奏が終わったとき、会場の人々はどんなことを思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勇紀君のがんばりに感動した。 ・勇紀君といっしょにがんばる学級の仲間の心にも感動した。 <p style="text-align: center;">力いっぱいはく手をした「まり子」はどんな思いだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばる弟がかわいらしく誇りに思う。 ・まわりの友だちの支えがうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏開始直後には冷ややかな反応があったことを理解させる。 ・勇紀の一生懸命な姿が、会場の人たちに感動を与えたことに気づかせる。 ・勇紀のがんばりとともに、それを受け止めいっしょにがんばる学級の友だちに対して会場が評価をしていることに気づかせる。 ・勇紀をいたわる気持ちと同時に、がんばる姿を誇りに思っていることに気づかせる。
<p>4 自分たちの生活を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの学級のように、自分の対応を見つめさせる。